

22冬季一時金回答発表



歩み

2022. 12. 9
NO. 662号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
06-6574-8424
078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます

要求提出

11月1日、大阪港勤労福祉会館に於いて冬季一時金第一回支部統一集団交渉が行われました。

はじめに、河野委員長より先日行われた支部定期大会で決定した新しい支部役員体制の報告があり、続いて現在の情勢では物価上昇などによる生活への影響について、「今日からは約700品目の商品が値上がりし年明けには約2000品目以上が値上がりする」と話され、国税庁の発表で

11月22日時点

大 運	570,000円 + α
新 富 運 送	300,000円 + α
日本コンテナ輸送	2. 0ヶ月
菱 倉 運 輸	2. 45ヶ月
日本高速輸送	602,545円
三 郵 海 陸 運 輸	536,000円
大 洋 運 輸	平均457,380円
サン・トランスポート	平均433,380円
神 崎 運 輸	420,000円 + α
五 洋 ロ ジ テ ム	平均573,220円
内外フォワーディング	1. 8ヶ月 + α
天神運輸倉庫	400,000円 + α
神戸フェリーセンター	1. 0ヶ月
レ ッ ク ス	平均459,374円
日 章 ト ラ ン ス	246,217円
阪神コンテナビジネス	300,000円 + α
国際コンテナ輸送	1. 90ヶ月
日本郵便輸送	2. 15ヶ月 + α
オーエスティ物流	420,000円
後 藤 回 漕 店	一律640,000円
シ ン ケ ン	664,451円
三井倉庫サプライ	平均657,500円
大阪平岩運輸	200,000円 + α + 年功
阪神高速トール神戸	2. 0ヶ月
大 阪 海 運	370,000円 + α
名 阪 船 舶	平均478,428円 + α

は昨年度の日本企業の儲けが過去最高のおよそ80兆円になった事にふれ、「我々には見当もつかない。我々は大企業ではなく中小企業で働く労働者」と訴え、円安を背景に大企業だけが利益を上げ所得の押し上げをしているだけで「我々は苦しい生活を送っている」と話され、改めて「中小企業には厳しい状況、環境ではあるが、考慮していただき昨年実績以上を気持ちよく提示していただきたい」と話されました。

続いて、関西地本の樋口書記長から統一要求の秋年末、来年春闘、定年延長、コロナ対策等に対しての説明がありました。最後に久保田書記長から、コロナの終息がまだ見えない中、「実際の発表数

回答指定日

22日、大阪港勤労福祉会

館に於いて第二回集団交渉が行われました。冒頭、河野委員長より未だ決着がみえていなかった22港湾春闘について「11月16日に合意形成ができた。年末年始の例外荷役についても通常通り行われる」との報告がされました。

阪神支部2023年春闘討論集会 & 「機関紙コンクール」

下記日程で春闘討論集会を開催します。

◆日程：2023年1月21日（土）
～1月22日（日）

◆機関紙コンクールも開催します。機関紙作成分会は
エントリーよろしくお願いします。



に移行してきた経緯があるが、現在かなりの物価上昇が事実としてある。分会としても円満に誠実な交渉を進めたい思いがある。業績や情勢に見合った上乗せを検討していただいた上で、誠実な回答を求める」と厳しい追及を行いました。その後、すべての分会に妥結権を委譲することが報告されました。

12月9日の確認団交までに各店社に更なる上積みを目指すとともに、今後分会交渉の中で妥結できるよう誠実な交渉を進めるよう求めた上で、今後交渉が難航する分会があれば本部交渉で対応していく旨を表明し、交渉は終了しました。

かがやけ憲法！ 平和といのちと人権と 11・3おおさか総がかり集会 いかそう憲法・止めよう 大軍拡の声高らかに！



3年ぶりとなる市民パレード

すべて国民は健康
で文化的な最低限
度の生活を営む権
利を有する

スペシャルゲストとして
参加された同志社大学大
院の岡野八代教授からは

「憲法第25条では『すべて
国民は健康で文化的な最低
限度の生活を営む権利を有

する』と書いてあり、私た
ちの文化的な生活を豊かに
するために私たちの税金
(税金) が使われるべきで
す。私たちの税金の使い方
を決めている国会に、文化
と生活こそが大切だと思う
人たちを代表として送るこ
とです」とスピーチがあり
ました。

戦争をしてはいけ
ない、国民・市民
は一人として殺し
てはいけない

その後、憲法って何だろ
う「くらし・コロナ・平
和」をテーマに、労働組合
と平和の分野で活動する青
年2人とのトークセッション
を受け「戦争をしてはい
けない、国民・市民は一人
として殺してはいけない
と、胸を張って世界で訴え
てくれる政治家を議会に代
表として送ろう」と訴えら
れました。

参加した野党の政党アピ
ールでも、岸田政権は国民
の税金を使った国葬を多く
の国民が反対するなか強行
したことや、旧統一教会と
の密接な繋がりがあること
など多くの悪政ぶりを糾弾
し、市民と野党の力で政治
を変えようと訴えられまし
た。

集会後は3年ぶりとなる
市民パレードを行い、「い
かそう憲法・とめよう大軍
拡」と書いたプラカードを

手に元気に市民に訴えまし
た。

岸田政権の悪政ぶりは支
持率30%を割り込んでいる
にもかかわらず、台湾有事
を口実にした大軍拡をはじ
め、介護保険・医療保険の
改悪、旧統一教会との密接
な関係、次世代原発の建設
検討など言い出せばきりが

11・3神戸憲法集会

憲法9条は 全人類を守るべきもの

11月3日文化の日、前安
倍晋三政権の政治姿勢を引
き継いだ岸田内閣の改憲策
動に反対し、憲法改悪反対
兵庫連絡会議主催による神
戸憲法集会が長田区文化セ
ンターで開催されました。

日本国憲法公布76年目を
迎えたこの日の集会は、冒
頭にピアノ奏者の安達萌さ
んとクラリネット奏者の竹

ありません。台湾有事を理
由に憲法9条をないがしろ
にした敵基地先制攻撃能力
を備える大軍拡にストップ
をかけ軍事費を減らし、福
祉・医療・介護を充実さ
せ、我々国民が安心して暮
らせる社会を一緒に作り上
げましょう。

書記次長 廣渡 信次

内久力さんの二重奏による
心癒す優しい音色で始まり
ました。

基調講演は、朝日新聞社
の記者を経て、現在はフリ
ーの国際ジャーナリストと
して活躍されている伊藤千
尋さんを招いて、伊藤氏が
これまでに世界82カ国を訪
れ、自らの足で取材した事
実をもとに話は進められま

した。

平和を求め る世界の声 と日本の軍 拡・改憲勢力

これまででも多くの
国内戦や侵略戦争
が繰り返され、多
大な犠牲を払う中
で、戦争反対の市民
運動が巻き起こり、
今や平和を求める声

は世界的世論に発展し
てきた歴史を紹介し、
岸田政権の目論見に対
して伊藤氏は「岸田政
権と取り巻きの補完勢
力らは、ウクライナ戦
争に便乗し、中国脅威
論を持ち出して、軍拡
・改憲をねらっている。
防衛費倍増や日本
を世界第3位の軍事大
国に・・・などと、既
に破綻した抑止論で国
民を騙し憲法9条の空
洞化を狙っている」と
語られました。

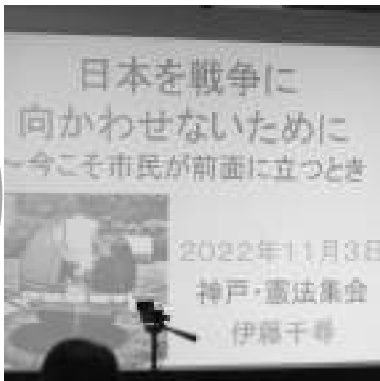
ベルリンの壁崩壊ま
での歴史的な歩み、近
年では2016年のパク・
クネ元韓国大統領を退陣に
追い込んだ100万人デモ
などを振り返りながら「一
旦、戦争をすれば双方の国
が破滅する。日本を戦争に
向かわせないためには、今
こそ市民が立ち上がるべき
だ」として講演を締めくく
りました。

9条で平和は守 れるのか？

テレビなどでは改憲派の
コメンテーターが、「そも
そも日本国憲法はアメリカ
がつくったものだ」とか
「9条で平和は守れるのか
？」などと言っています。
しかし、憲法9条は時の
首相であつた幣原喜重郎氏
が発案者であり、米国側と
粘り強い交渉の末に条文を



国際ジャーナリスト 伊藤千尋さんによる講演



氏の基調講演で再認識さ
せられました。

コロナ禍の中、本来の憲
法記念日と言えるこの日
は、基調講演の中盤あたり
から気が付けば定員400
名の会場に約500人近い
参加者が集まり、会場の外
まであふれる人も出るな
ど、大きな熱気に包まれた
集会となりました。

副委員長 藤崎 良治

第一回中央トラック・海コン合同対策会議

23春闘の行政への要請
に向けて各地方の問題
を集約

11月10日・11日、第一回中央トラック・海コン合同対策会議が日港福会館に於いて開催されました。

中央本部が新体制になって初めてという事もあり、鈴木新委員長が挨拶を述べ開会となりました。

早速議題に入り、中央交通運輸労連事務局次長の蒔田氏による「改善基準告示の見直し」と題し交通労連として行政行動と今後の課題等の講義を受けました。

トラック産業の
働き方改善で
魅力ある産業に

内容については事細かく説明されました。トラック産業にたずさわる平均年齢、労災無発生状況統計、拘束時間、休憩時間まで我々が今まで指摘していた通り二割拘束時間が長いものが如実に数字で表れていました。

今後、2024年問題といわれている残業時間規制などを考慮すると、現状を維持する事は不可能に近

く、大幅に物流が滞ること
も危惧すべき中身になって
いました。

しかしながら、労働組合
としてはさらなる高みを目
指し、一般職同様の働き方
を目指すべきであり、より
良い働き方、魅力ある産業
にするべきであると感じま
した。

続いて、担当執行委員で
ある畠山副委員長からも現
状報告と改善基準告示の改
正について「交通労連と連
携しながら進めていく」と
述べました。

各地方が抱える
問題を報告

二日目は各地方の報告が
あり、関西からは9月16日
に阪神支部の運動の中で近
畿地方整備局と近畿地域連
絡協議会から「特殊車両通
行許可と道路の問題につい
て」と道路管理者として
「橋梁の老朽化について管
理・修復の現状と今後の取
り組み」の報告を受けたこ
とを話しました。
また関東地本からは、

「模擬フィールドにおける
走行試験」と題し、トレー
ラーの自動走行の安全性等
を検証したこと。シャーシ
シエア実験や、コンパスに
よる搬出入の現状等の報告
がありました。

コンパス運用の
課題が露呈

その後質疑に入り、関西
地本定期大会でも代議員か
ら質疑があったコンパスの
運用について質問しまし

た。関東地本より「関西同
様にゲート前の混雑の時間
短縮にはつながるものの、
ターミナル内での時間短縮
にはつながっていない」と
返答がありました。コンパ
スの運用にあたり、今後の
課題が露呈した形になりま
した。

最後に来春闘時に各行政
に対しての要請文の中身に
ふれ、「一月の中央委員会
までには各地本で意見集約
して加筆・修正して提出し
てほしい」と課題を頂き、
第一回中央トラック・海コ
ン合同対策会議を終了しま
した。

副委員長 松本 栄二

神戸港湾秋年末行政要請行動

改善・要請すべき課題
が山積
粘り強い行動を継続

全国港湾の中央行動に先
駆けて、地方行政に対して
地方独自の要請を毎年春と
秋に行っており、10月24・
25日に各行政と阪神国際港
湾㈱と神戸市港湾局に要請
行動を行いました。
昨年に引き続きコロナ禍
のため人数制限と時間を短
縮して行いました。
24日は神戸運輸管理部か
ら一通りの回答を聞き意見
交換へ移りました。

人材育成の
重要性を確認

特に今期は国土交通省が
主導して港湾労働者の人手
不足に起因するアクション
プランについて、中身にっ
いての不満はあるものの、
人材育成が重要であること
はお互いの共通認識である
ことを確認しました。これ
に関する動きについては今後

労使の合意なし
に進めさせない

昼からの阪神国際港湾㈱
での行動ではコンテナター
ミナルの遠隔操作・自動化
の問題で、労使の合意が整
わない限り強行に進めない
ことを再確認するとともに
に、外来トレーラーの自動
化についても同様であると
通告しました。また、コン
パスの取り扱いについては
ターミナル内に入場してか
らの問題点を指摘しまし
た。

KICT付近の工事の内
容について質問をする、
「拡張工事である」とした
だけで、具体的な内容の返
答はありませんでした。

危惧すべき
問題山積

25日は神戸市港湾局と兵
庫労働局への要請行動とな
りました。

港湾局では最初に副局長
が「コンテナ取扱量が昨年
より増加傾向にあるが、コ
ロナ感染拡大やロシアによ
るウクライナ侵攻。また、
円安による輸出入の変化な
ど危惧する問題は山積して
いる」と述べました。

続けて要請書の内容につ
いての趣旨説明を省き、回
答を求めました。

意見交換の
場では、港湾
局からコロナ
への対応とし
て「本船の船
員との接触を
避けるために
休憩室やトイ
レを分けて使
用するなどの
対応をしてい
る」と回答が
ありました。

また、ハー
バーハイウェ
イのETC化
の進捗状況に
ついては来年
の秋頃に完成
する見込みで
あるとし、既存の事業者に
対するサービス（通勤券や
業務用トレーラーの通行券
の配布）も従来通り行うと
しましたが、具体的な内容
までの言及はありませんで
した。

労働条件の改善
と向上を訴え

午後からの労働局への行
動では、これまで同様に回
答を聞いてから質疑へ入り
ました。

神戸港における労災発生
件数を聞いたところ、「兵
庫県としては把握している
が、神戸港だけというのは
わからない」と局側から回
答されました。



松本副委員長が要請文を提出

また、組合側からは産別
協定の週休2日制につい
て、「港湾関連事業だけが
未だに確立されていない。
これでは労働条件の改善に
つながらず、人手不足は解
消できない」と訴えまし
た。

続けざまに港湾労働者証
の発行について、技能研修
を受けた外国人労働者には
発行しないことを再確認し
ました。

まだまだ改善・要請すべ
き課題は山積しています
が、今後も粘り強く継続し
ていく事が我々の職場環境
の安全安心の構築につな
がると実感し、2日間の行政
要請行動を終えました。

副委員長 松本 栄二

地本労職対津波避難訓練

適切な避難行動を

神戸市港湾局主催による地震、津波避難訓練が11月2日に神戸ポートオアシスにて開催されました。

この訓練の目的は、緊急地震速報が発表された際に、身の安全を確保する行動と、適切な避難行動を身に付け、本訓練を継続する事で日頃からの地震や津波への備えの重要性を再認識するためです。

午前10時に防災行政無線による放送と緊急エリアメールによる受信をうけて、体を小さく、頭を保護するなど、自分の身の安全を確保しました。その後、港湾局による勉強会が開かれました。

位が気圧や風により異常に上昇する現象です。高潮の主な要因は二つあり、一つ目は「気圧の吸い上げ」です。気圧が1気圧から1hpa低くなる毎に海面が約1cm上昇します。二つ目は「風（吹き寄せ）」です。風速の2乗に比例し海面が上昇（風速が2倍になれば4倍）し湾の奥ではさらに高くなるということです。

昭和39、40年に台風による高潮で神戸沿岸部が甚大な被害を受けたことにより高潮事業が本格化し、昭和40年度から平成27年度までに事業費約300億、総延長60kmを超える防潮堤が整備される事となりました。

高潮対策

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近に伴い、潮

地震津波対策

津波とは大規模な地震により震源に近い海底に上下

方向の断層のずれが現れ、それにより生じる、海水面の盛り上がりや落ち込みにより起こる波です。

大量の海水が巨大な塊となって押し寄せるため、例えば海水30cmであっても人は身動きが取ることができず、50cmで車などが流出し、1mで人は生存する事が困難な状況に陥ります。

近年騒がれている南海トラフ地震は今後30年以内に発生する確率が80%程度との見方があり、実際に1600年から1946年までに南海トラフ沿いで4回もの大地震が発生しており、最後の大地震から現在まで76年が経過しています。およそ100年に1回の大地震、いつ発生してもおかしくありません。

この津波対策と平成30年の台風20、21号などの影響も受け、既存海岸保全施設の「嵩上げ」「増厚」により、粘り強い構造に補強し、発生頻度の低い津波



東遊園地まで避難訓練

（1000年に1回、マグニチュード9クラス）が起きてても人命への多大な影響を回避することができるよう、浸水深30cm未満になるように整備中です。

更に神戸港防災ポータルサイトにて、防潮扉の閉鎖予告時刻および開閉状況、臨港道路の交通情報、ライブカメラによる海岸沿いの状況と潮位情報を得ることができまますので、防災行動に活用していただければ幸いです。

勉強会終了後、東遊園地（津波浸水想定区域外）までの避難行動を行い総括をして避難訓練終了となりました。



分かるかな？懸賞クイズ



【問題】

- 仏 → 2
- 池 → 3
- 道 → 4
- 証 → 5

とした場合、薬はいくつでしょう。

661の回答

A. 「家具売り場」

【解説】 【待つ】は【タイツ】で洋服売り場、【座る】は【ザル】で食器売り場、【引く】は【インク】で文房具売り場になるので【探す】は【タンス】で家具売り場となります。

2名の方から応募があり、全員が正解でした。以下の方にQUOカードを進呈します。

長野 雄二（大運分会）、松井謙一（三林分会）
662号の締め切り日は、12月23日（金）です。
ふるってご応募ください。

過積載防止宣伝行動

過積載を撲滅し、安全運行を

毎年春と秋に行われる大阪府トラック協会による「過積載防止宣伝行動」を11月15、25日、支部執行委員とブロック員6名が毎日交代で、コロナ対策をとって取り組みました。今回は河内地区を宣伝区域とし、幹線道路など過積載防止を主に飲酒運転撲滅、安全運転の順守を訴えながらの宣伝行動をすすめました。

過積載での運行は車両に大きな負担をかけ、車輪ポルトの折損や車輪の脱落にもつながる要因となり、制動力や操舵力の低下から大事故の原因にもなります。また道路への負担もかなりあることから、道路の陥没や橋脚の劣化や損壊など車両のみならず全てにマイナスの影響があり、横転、ブレーキが効かないなどの事故、当該車両だけでは無く二次災害を引き起こした



宣伝カーでの呼びかけ

皆田 麗

山口 雄嗣

りと重大事故になる恐れがあります。

過積載撲滅は運送事業者だけでなく、荷主の安全意識も必要となります。私自身、荷物の重量など今まで以上に確認し、ドライバーの安全運行に繋げるよう今後も取り組みたいと考えて活動になりました。

大阪ブロック長